

令和5年度 第2四半期（2023年7月～9月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=25 事業所(回答率 100%)

2. 調査対象期間

今期=2023年7月～9月

- ・前年同月比=前年同期(2022年7月～9月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(2023年4月～6月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(2023年10月～12月)の見通し

3. 調査期間 2023年9月13日～9月22日

4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が0より上の場合=景気は上向き

DI値が0の場合 =景気は横ばい

DI値が0より下の場合=景気は下向き

5. 調査項目ごとの状況

(1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲27.9 で、業種別にみると「卸売業」「小売業」が▲19.8 で最も高く、「建設業」が▲20.0 で続いている。

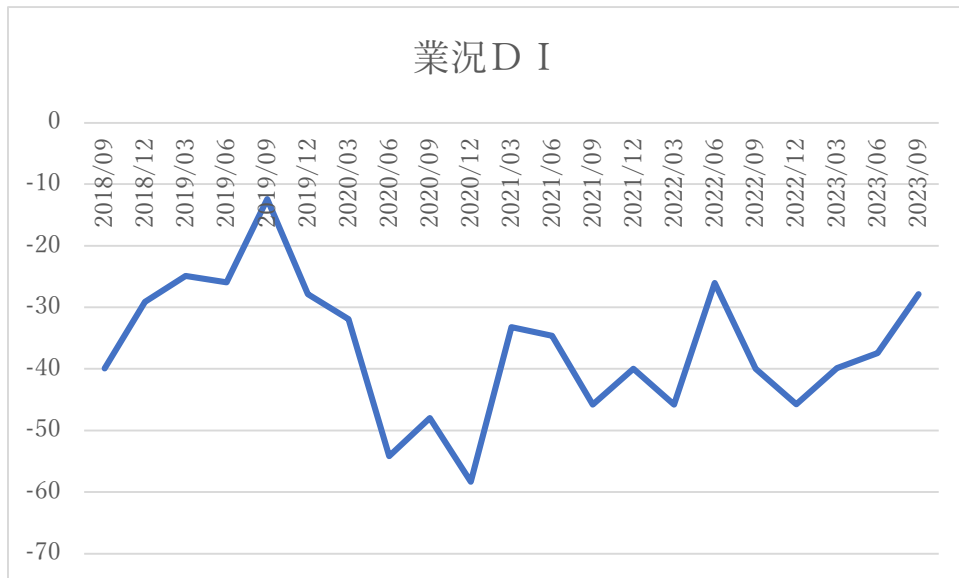
先行きは横ばいの▲27.9 で、業種別では「建設業」で改善、「卸売業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2023年 4~6月期 (今回調査)		2023年 7~9月期 (今回調査)		2023年 10~12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲39.9	↗	▲27.9	↗	▲27.9	→
建設業	▲40.0	↘	▲20.0	↗	0.0	↗
製造業	▲19.8	↗	▲39.8	↘	▲39.8	→
卸売業	▲60.0	→	▲19.8	↗	▲40.0	↘
小売業	▲19.8	↗	▲19.8	→	▲19.8	→
サービス業	▲59.8	↗	▲40.0	↗	▲40.0	→
(参考)全国全産業	▲14.8	↗	▲9.0	↗	▲12.9	↘
(参考)東北全産業	▲13.1	↗	▲13.0	↗	▲19.8	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)



(2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲47.8 で、業種別にみると「建設業」「小売業」が▲39.8 で最も高く、「サービス業」が▲40.0 で続いている。

先行きは 15.9p 改善の▲31.9 で、「建設業」「製造業」「卸売業」「小売業」で改善、「サービス業」で横ばいとなっている。

図表2 売上高DI

	2023年 4~6月期 (今回調査)		2023年 7~9月期 (今回調査)		2023年 10~12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲41.5	↗	▲47.8	↘	▲31.9	↗
建設業	▲40.0	↗	▲39.8	↗	▲20.0	↗
製造業	0.4	↗	▲59.8	↘	▲39.8	↗
卸売業	▲59.8	↗	▲59.8	→	▲40.0	↗
小売業	▲49.8	↘	▲39.8	↗	▲19.8	↗
サービス業	▲60.0	↘	▲40.0	↗	▲40.0	→
(参考)全国全産業	4.0	↗	4.9	↗	▲0.8	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

(3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲47.9 で、業種別にみると「小売業」が▲19.8 で最も高く、「卸売業」が▲39.8 で続いている。

先行きは 20.0p改善の▲27.9 で、「建設業」「製造業」「卸売業」で改善、その他の業種で横ばいとなっている。

図表3 採算DI

	2023年 4~6月期 (今回調査)		2023年 7~9月期 (今回調査)		2023年 10~12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲37.4	↗	▲47.9	↘	▲27.9	↗
建設業	▲20.0	↗	▲60.0	↘	0.0	↗
製造業	0.4	↗	▲59.8	↘	▲39.8	↗
卸売業	▲60.0	→	▲39.8	↗	▲20.0	↗
小売業	▲49.8	↘	▲19.8	↗	▲19.8	→
サービス業	▲60.0	↘	▲60.0	→	▲60.0	→
(参考)全国全産業	▲14.1	↗	▲13.3	↗	▲16.5	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲20.0で、業種別にみると「建設業」「卸売業」が0.0で最も高く、「小売業」が▲20.0で続いている。

先行きは横ばいの▲20.0で、全ての業種で横ばいとなっている。

図表4 資金繰りDI

	2023年 4～6月期 (今回調査)		2023年 7～9月期 (今回調査)		2023年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲16.6	↗	▲20.0	↘	▲20.0	→
建設業	0.0	→	0.0	→	0.0	→
製造業	▲19.8	↗	▲40.0	↘	▲40.0	→
卸売業	▲20.0	→	0.0	↗	0.0	→
小売業	▲25.0	↘	▲20.0	↗	▲20.0	→
サービス業	▲20.0	↗	▲40.0	↘	▲40.0	→
(参考)全国全産業	▲12.3	↗	▲11.8	↗	▲12.3	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲68.0で、業種別にみると「卸売業」が▲40.0で最も高く、「小売業」「サービス業」が▲60.0で続いている。

先行きは横ばいの▲60.0で、「建設業」で改善、その他の業種で横ばいとなっている。

図表5 仕入単価DI

	2023年 4～6月期 (今回調査)		2023年 7～9月期 (今回調査)		2023年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲75.0	↗	▲68.0	↗	▲60.0	↗
建設業	▲80.0	→	▲100.0	↘	▲60.0	↗
製造業	▲80.0	→	▲80.0	→	▲80.0	→
卸売業	▲80.0	↗	▲40.0	↗	▲40.0	→
小売業	▲75.0	↗	▲60.0	↗	▲60.0	→
サービス業	▲60.0	→	▲60.0	→	▲60.0	→
(参考)全国全産業	▲69.4	↗	▲69.6	↘	▲60.5	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

(6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は0.2で、全ての業種でやや不足となっている。

先行きは0.1p改善の0.3で、全ての業種でやや不足となっている。

図表6 従業員DI

	2023年 4～6月期 (今回調査)		2023年 7～9月期 (今回調査)		2023年 10～12月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	0.2	↗	0.2	→	0.3	↗
建設業	0.4	↗	0.4	→	0.6	↗
製造業	0.2	↗	0.0	↘	0.0	→
卸売業	0.2	↗	0.2	→	0.2	→
小売業	0.0	↘	0.0	→	0.2	↗
サービス業	0.2	↘	0.4	↗	0.4	→
(参考)全国全産業	20.9	↘	22.8	↗	23.8	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
物価上昇の影響が出てきている。	建設業
原油高や電気料の値上りは、やはり厳しいものを感じる。	製造業
車両(新車)入荷不足。	小売業
人員不足の影響により売上高が減少。	サービス業
今は我慢するしかない。	サービス業